

災害時、谷戸第二小学校 に避難する方へ

～感染対策版～

避難所のご案内2

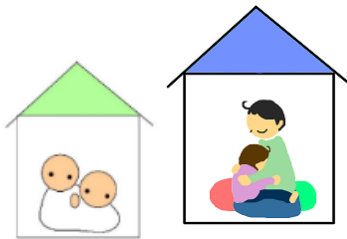
在宅避難できる！

災害発生

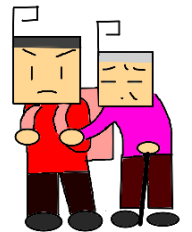
在宅避難は無理だ！



家にいよう！



避難所へ行こう！



着いた！ 正門開錠まで待とう！



⚠️ 自宅で生活できる場合は
在宅避難が基本です。

西東京市では、
市立小中学校を
「避難広場」及び「避難所」
に指定しています。
谷戸第二小学校の近隣には
田無第二中学校、
谷戸小学校（緊急医療救護所併設）
等があります。

正門が開いたら、校庭へ。まずは、安全確保！



「避難」とは「難」を「避」けること。
自分にあった避難を考えよう！



自分にとって・・・
何が「難」で
何が「安全」なんだろう？

災害時に感染症が流行している場合の

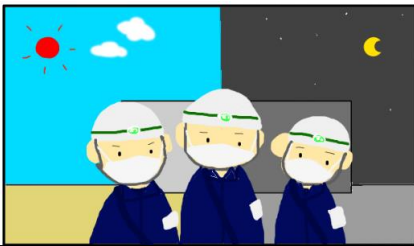
校庭避難の流れ

① 正門前待機



鍵がかかっています！
開錠まで入れません!!

誰がどこの門を
開けてくれるの？



正門開錠係です。※担当は、学校教職員、
市職員（学校施設避難班・初動要員等）、
地域住民ボランティア（開錠訓練参加者）



避難者の出入りは正門のみ可。



それ以外は、使用禁止。

② 検温（役割分担：検温係等）



体調不良・
発熱の場合は？

自分の体温計は、出しやすいところに入れておこう!!



待機スペース2で、
適切な距離を
保って待機。

△ 感染症罹患者は、発災の有無に
かかわらず、発症時にあらかじめ、
罹患者の避難方法や避難所について
検討しておく必要あり。
発災前、被災前の情報収集が大切。

役割分担は
どうするの？



貴重品は
常に携帯して活動
できるように準備！

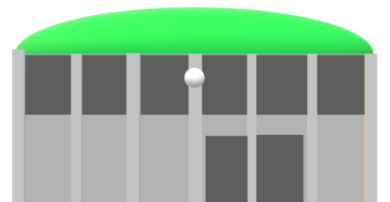
アクションカード配付係から、
カードを受け取り、役割分担の
内容を確認したら、活動開始！
（※アクションカード見本は
最後のページに掲載）

③ 校庭入場（役割分担：誘導係・被災状況確認係等）

並んで待とう！



体育館は安全かな？
被害状況を確認しよう！



④ 校庭待機・利用届記入



見本

谷戸第二小学校避難広場(校庭)利用届<控> ※自分で保管			
避難者氏名 (ふりがな)	体温		利用目的<該当項目に☑>
	自己測定値	検温係測定値	
年 月 日 受付	度	度	

キリトリ



谷戸第二小学校避難広場(校庭)利用届 ※回収係に提出			
避難者氏名 (ふりがな)	体温		利用目的<該当項目に☑>
	自己測定値	検温係測定値	
年 月 日 受付	度	度	



筆記用具は、すぐ出せるようにしておこう！

安全第一&役割分担

自助・共助・公助ってなんだろう？ ～避難広場編～

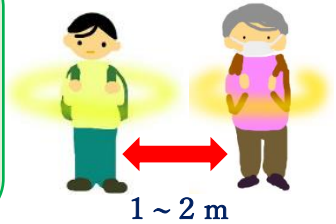
自助

自分で
できることは？



自己管理。

- ・体調管理 ※体温計持参
- ・感染症対策
- ・貴重品管理 等々



共助

避難者同士、
助け合えることは？



アクションカードを活用して、
必要な役割を分担。

試案（現在作成中）

谷戸第二小学校アクションカード 避難広場待機誘導係

「実施内容」の実行が難しい場合は、カード配付係に理由を伝え、相談します。
「実施内容」が完了したら、このカードを持って、カード配付係へ報告に行きます。

ファイル通し番号	カード通し番号	実施人数	実施場所・確認対象者
A① - (7)	11	2	正門→校庭

実施内容 ※避難者同士協力して実施

- ① 避難者に、建物の被災状況確認が済むまで校庭待機を続けるよう伝える。
〈例〉「今、建物の被災状況を確認中です。まだ、体育館には入れません。
このまま、校庭待機を続けます。」
- ② 避難者が並んで待てるよう誘導し、必要な連絡事項を伝える。
〈例〉「あちらが最後尾です。適度な距離を保って、並んで待ちましょう。」

注意事項等

必ず2人1組で活動。危機管理（安全管理）のため、単独行動厳禁。
余震などによる倒壊や頭上からの落下物等に注意。

谷戸第二小学校
アクションカードは、
避難場所（校庭・体育館等）で、具体的に何を
行う必要があるかを示した災害対応初動
マニュアルです。

発災直後の混乱時、その役割に就いた人が「これを
読めば必要な行動（アクション）が
わかる！」となることを目指して、
現在作成中です。避難所開設訓練
やシミュレーションを繰り返しながら
検討し、改案しています。

公助

学校と連携することは？

まず、避難場所の安全確保から。
避難広場（校庭）や避難所（体育館等）
の被災状況の確認。

災害時には、全員被災者。

避難所の被災者も、

在宅の被災者も、

災害対策本部の被災者も、

お互いを大切に思って、共に生きよう！ 助け合おう！

